

奄美市DX推進計画（素案）に係るパブリックコメント

ご意見①	奄美市の考え方（回答）
<p>【1】暮らしのためのやさしいデジタル活用（住民向け） デジタル化が進展し、その恩恵を受け、行政を円滑に過ごしやすくする手立てとして、様々な施策が提案されていますが、全ての施策のKPIの設定値が3年という期間の中で、あまりにも微増すぎると感じます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共施設オンライン予約率:40%→50% 3年間で10%？ ・LINE 登録者数:13,000人 → 13,600人 3年間で600人増？ ・Schoo 利用登録者数：750人 → 850人？ <p>現在の奄美市のポータル窓口として、導入がスムーズにいくプラットフォームは公式LINEではないと感じます。そこからデジタルの活用を促進につなげていくことが、1番の近道であると思います。3年という期間があれば、スマートフォンの所持等の関連もありますが、人口の半分まで登録することはできるのではないのでしょうか。例えば、窓口を訪れた市民に常にLINE登録を促すことを展開するだけで、600人増は容易にクリアできる目標値ではないでしょうか。</p> <p>【1】-⑥子どもの「好き」を増やすデジタルの活用 教育機関でネットフィルタリング(※19)を推進する ←少しずれていませんか？ 奄美市では、小中学校の現場でも DXを推進していますが、・・・ →これからの時代に生き抜くための教育DXが推進されていますか？疑問に感じます。 教育DXについても、より具体的な施策を提示してください。 このDX素案に奄美大島の担う若い世代への施策の量が少ないと感じます。 デジタルを活用していく世代への具体的な施策を追加で加えてください。</p> <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャッシュレス機器も台数も少ないと感じます。 ・コンビニで証明がとれるようになっていますが、市役所にも同様の機器を配布することで、利用促進にもつながるのではないのでしょうか。 	<p>該当箇所</p> <p>P14【1】-①オンライン申請の利用増加 P15【1】-②奄美市公式LINE・SNS・投稿フォーム等の利用拡大 P18【1】-⑤オンライン学習・リモート学習の活用 P19【1】-⑥子どもの「好き」を増やすデジタルの活用 P33【3】-③デジタルを活用した情報発信と広聴機能の充実</p> <hr/> <p>本市の考え方（回答）</p> <p>【1】暮らしのためのやさしいデジタル活用（住民向け） KPIの設定値につきましては、各関係課と見直しについての協議を行い、下記の数値目標を再設定しました。 公共施設オンライン予約率40%(R8)→60%(R10) LINE登録者数13,000人(R8)→14,400人(R10)</p> <p>【1】-⑥子どもの「好き」を増やすデジタルの活用につきましては、関係課と検討を行い、教育に関する取組項目の整理と拡充を図りました。</p> <p>その他、貴重なご意見ありがとうございます。デジタル化を通じて市民の皆様がより便利な生活を送ることができる仕組みづくりを目指します。</p>

ご意見②	奄美市の考え方（回答）
<p>アナログの良さを活かしたDX推進という方針が素晴らしいと思います。</p> <p>優先順位は低いかもしれませんが、PTA、少年団運営において、気軽に（予算の心配なく）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・紙ではなく、データで情報を共有できるプラットフォーム ・現金で集金しなくてもいいシステム <p>が使える支援がほしいと切に願っています。市内の小学校と中学校は共通のものを使えると思います。（小学校と中学校で違うとまたややこしいので…）</p> <p>今でも「本当に紙の」帳簿で会計をつけ、その受け渡しに四苦八苦したり、100円や10円の集金に右往左往したり、エクセルファイルでデータがあっても、パソコンが無いからだめと人に頼む、頼まれるとか…子供が通学する小中高12年間苦しみ、あるいは逃げ、無関心で通す…やっても、見ても辛いです。島のPTAや保護者組織がとても好きで、子供達の頑張りを応援することが楽しいので。スプレッドシートでも良いのですが、誰かの操作でデータが突然消えたりもありますし、有料サービスも含め、烏合の衆でも、ケースに応じて試したい時に導入のハードルを下げる支援がほしいです。</p> <p>具体的な支援とは、プラットフォームを運営し、相談も受けてくれる管理組織？と、その資金…書いてるそばから無理なことを言っていると感じて辛くなりますが…。言うだけ言ってみました。</p>	<p>該当箇所 P35【3】-⑤住民・学校・事業所・職員のデジタル活用補助</p> <p>本市の考え方（回答） デジタル機器（パソコンやスマートフォン）の利用が限定的な方に対し、デジタル化による恩恵の周知を図りながら操作に不慣れな方の支援を強化して市全体のデジタル活用力の底上げを目指します。</p> <p>また、いただいたご意見を各関係課へ共有するとともに、現場の課題解決へ向けた検討を重ねてまいります。</p>

ご意見③	奄美市の考え方（回答）
<p>高齢者のスマホ利用拡大について。スマホを持っていますが、ほぼ電話のみでしか使用せずラインは見るだけという状況です。ソフトウェアを更新してくださいなどの通知が来ますが意味が分からず放置してしまいます。wi-fiも契約していません。</p> <p>目標管理に「市民向けスマホ相談会への参加」とありますが、相談会に行くのが少し恥ずかしいなと感じています。体調の問題などで開催日に行けないこともあると思います。</p> <p>また、スマホを操作している時に分からないことが出てきてその先に進めないのが、その時に解決したいという気持ちがあります。その場で解決しないとどの操作でつまずいたかを忘れてしまうためです。</p> <p>携帯ショップに行って操作方法などを教えてもらうのもひとつですが、例えば市役所にスマホの相談できるような窓口を設置して、開庁時間であればいつでもどんなことでも相談可能という仕組みを作るようなことも取組のひとつとして考えていただけないでしょうか。電話帳への登録やラインの返信方法などちょっと聞きたいなという時に利用することでスマホの利用が拡大すると思います。親族が近くにいない高齢者はwi-fiを契約していない家も多くあると思うので、その窓口でソフトウェアの更新もできるとありがたいです。住まいは瀬戸内町ですが、奄美大島在住者であれば誰でも相談できるような場所がほしいと願っています。</p>	<p>該当箇所 P16【1】-③高齢者のスマホ利用拡大 P35【3】-⑤住民・学校・事業所・職員のデジタル活用補助</p> <p>本市の考え方（回答） ご提案ありがとうございます。 奄美市では住民向けのスマホ相談会やスマホ教室を推進しながら、デジタル格差の解消に取り組んでいます。 スマホ相談窓口につきましては、市役所や特定の公共施設等における実施の可能性について検討を行う予定です。</p>